

小ロット印刷に特化！ 初期費用を極力抑える

## ハイブリッド自費出版のご紹介

平素格別のご最厚を賜りまして、心より御礼申し上げます。 弊社では、このたび、著者様の初期費用をできるだけ抑える「ハイブリッド自費出版」という手法を開発いたしました。

ハイブリッド自費出版は、三つの特徴があります。

- (1) 自費出版を希望される方の多くが希望される製本数「100～300冊」に適した印刷方法を用いることでコストを抑えます。
- (2) 印刷実費以外の費用を「将来の売上から補填する」というビジネスモデルを開発。弊社で先行投資させて頂く形で、著者様のコスト負担を軽減いたします。
- (3) 一般書店販売を行わず、Amazon を経由した電子販売に特化することで、流通コストを軽減します。ただし、ISBN の付番や国会図書館への納本は、一般書籍と同様に行います。

ハイブリッド自費出版では、当初、印刷実費分の書籍をご購入戴きますが、それ以外に費用は戴きません(\*)。弊社先行投資分回収後は、著者様への印税をお支払いいたします。

ハイブリッド自費出版は、次のような方に実績があり、喜ばれています。

1. セミナーや講義などの教科書・教材として配りたい
2. 思い出や半生記を本に残しておきたい、国会図書館に納めたい
3. 学位論文など研究成果を、多くの人に知ってほしい
4. 電子書籍の POD(Print on Demand) より、装丁に気を使いたい

ご興味をお持ちになりましたら、お気軽にご相談ください。

マイクロマクロリンク株式会社  
代表取締役 原岡和生  
[office@e-fu.org](mailto:office@e-fu.org) 08054690927

◇ハイブリッド自費出版仕様：

A5 サイズ

ソフトカバー

最大 400 ページ 程度 (最少ページ数は、ご相談ください)

印刷数 100～300 冊程度、

※ 白黒の方がコストを抑えられるのでお勧めですが、カラーも承ります。

※ 表紙デザイン、原稿用紙からのデータ入力、校正作業など、別途承ります。

\*注：印刷実費に相当する冊数を、著者様に最初にお買い上げいただきます。

例：売価 1000 円の書籍を 300 冊印刷。印刷実費 10 万円の場合：

- 1) 最初に、著者様に印刷実費分 100 冊をお買い上げいただきます(10 万円)。
- 2) 弊社先行投資分の回収までは、印税はありません(著者割引はあります)。
- 3) 先行投資分回収後、売上冊数に応じた著者印税をお支払いいたします。